

【ミッションステートメント】「いっしょに歩こう！プロジェクト」～日本聖公会東日本大震災被災者支援

- ① わたしたちは、東日本大震災により困難を負って生きる人々に敬意を払っていっしょに歩きます。
- ② わたしたちは、被災地の方々の生活と地域の再創造に向けていっしょに歩きます。
- ③ わたしたちは、主イエス・キリストが、共に歩いてくださることに励まされていっしょに歩きます。

2013年、あけましておめでとうございます。本年もますます変わらぬご支援をお願い申し上げます。震災から2回目の正月を迎え、各被災地ともに、少しずつ前に進みつつあります。復興住宅の着工が始まった地域もあります。これからまた、様々な生活の変化が起こってくるのでしょうか。みなさまも、どうぞこれからもお力をお貸しください。

### 【釜石年越しの旅 Part2】

2012年12月29日～2013年1月4日の日程で、釜石年越しの旅Part2が行われました。吉野執事の引率で3名が参加、餅つきや戸別訪問などの活動を行いました。昨年とは違い、お正月の落ち着きを取り戻した釜石ですが、親戚などを訪ねたり、親戚などが訪ねてきたりする方がいる一方で、仮設住宅で誰も訪ねてくる人もおらず、一人で過ごされている方もいっしょに、日常では見えない差が、この季節に浮き彫りになってきているのを感じてきました。今回参加者の中から小樽聖公会の石田みどりさんと紋別聖マリヤ教会の内竹康雄さんより原稿をいただいていますので掲載いたします。

### 【ボランティアに参加してみた】

小樽聖公会 石田みどり

私は、去年の12月29日から約1週間行った釜石年越しの旅に参加しました。吉野先生を中心に集まった四名のメンバーで29日夕方に札幌キリスト教会を出発しました。他の方は釜石ボランティア経験者でしたが、私はボランティア初参加だったため、現在の被災地がどのようになっているのかがわかりませんでした。私の場合、テレビでしか状態を確認できなかったもので、生で見ると、少しだけ抵抗がありました。

フェリーで青森に上陸し、釜石に向かっていると、ところどころ家が無く、荒地になっており、生で見た私は、テレビで見るより凄く、言葉が出なく唖然とするばかりでした。

釜石に到着し、二日目・三日目の午後には支援センターの方々と街の偵察に出ました。偵察に向かった場所は上陸したところとは違うところでした。私が一番びっくりしたことは、道路だけが修復しており、街灯・住宅などが一切なく、復興が進んでいる街、進んでいない街の差が大きく違うことでした。同じ県なのになぜここまで差が大きいかわかりません。私はとても悲しくなっていました。仮設住宅訪問の際、住んでいる方とは初めて会う方だったので、凄く緊張してしまいました。住民の方々はとても明るかったので、住民の方との楽しい時間を過ごすことができました。

今回、このボランティアに参加してみた、まだまだ復興には時間がかかりますが、少しずつ住民の方々が明るく生活を送っており、とても安心しました。またボランティアに参加し、今回できなかったことを行ってみたいです。

### 【釜石の支援活動の感想】

紋別聖マリヤ教会 内竹康雄

今回、12/29～1/4日程のツアーに参加いたしました。昨年も同日程で参加し、通算では3回目の釜石になります。一年ぶりに被災状況を視察しましたが、陸前高田市は瓦礫こそきれいに取り除かれているようでしたが、市街地は「時が止まった街」ままでした。

半壊した市役所も取り壊しが決定しているみたいですが、この震災を風化させないためにも保存を願いたいところです。しかし、被災者の方々の意見は「早く忘れたい」「風化されたくない」とさまざまです。高台になった土地にプレハブの仮店舗がかなり増え、少しずつ経済が回復しているのが感じ、亡くなった方のためにも強く生きるという生活が感じられました。

上中島仮設では、年始に2軒ほど訪問させていただきました。海老原センター長によると、今年の年末年始は震災以前の年越しに戻りつつあるとのことでしたが、それでも、一人で年越しをしなければならない年配の独居の方の心情は計り知れないものがあると痛感いたしました。また、「空室」の文字が目立ち、新しい住居先が決まり、新しい生活を始めている「復興」と同時に、いまだ目途が立たない「苛立ち」が入り混じる環境下であると感じました。

甲子(かっし)B仮設では、昨年同様、餅つき大会を実施いたしました。住民の方は、私の事を覚えてくださっておりお互い再会に喜びあふれました。昨年は、室内にてもちの仕上げを担当していましたが、今年は、ほとんど外で搞いていました。そして、風は強く、冷たかった。仕上がったもちを味わいながらのお茶っこ。昨年秋に結成された住民有志合唱団による歌の披露と楽しい時を過ごしました。

「いっしょに歩こうプロジェクト」が終了後、どういう形で活動できるか未定ではありますが、来年もまた、再会し餅つきをしたいというのが私の願いです。

### 【釜石での活動】

※ 海老原さん発信のブログより抜粋

12月25日

今日も子供クリスマス会があった一日。本日は昭和園仮設でした。カリタスジャパンさんとのコラボレーション。

アットホームないいクリスマス会になりました。でもサンタの顔がばれていたのがちょっと残念。海老原サンタは登場まで待たなくて、子供たちとがっつり遊んでしまっていたのです。

午後はいよいよ上中島大仮設のお掃除隊がはじまりました。今日のお掃除隊は佐藤さんと志村さんのコンビ。仕事の早いコンビでした。予定を上回る件数をこなしてくださり、後が楽になりました。

私がお掃除隊が仕事をしている間に箱崎白浜という場所まで行ってきました。こちらもお掃除の依頼を受けているのですが、下見をかねて訪問してきました。古い付き合いの方なのですが、久しぶりの対面。いろいろとお話してきました。

### 12月29日

本日は餅つきシリーズの中休みの一日。でもゆるい日にはなりません。今日は一挙に上中島お掃除隊。残り件数を終わらせなければなりません。それに午後からは上中島大餅つきの準備作業もあります。私は年明けの餅つき大会2か所まで打ち合わせがあったり、あいさつ回りがあったりといった具合。また急遽市原チャプレンを代表に「栗林仮設解凍隊」が編成され、救援活動を展開する事態になりました。大変です。

### 1月2日

のんびりしたお正月。大きなお店の初売りも始まり、少しずつ賑わいの出て来た釜石です。長期滞在の吉松ご夫妻が本日はお休み。

午前中、北海道チームは上中島仮設団地で戸別訪問。2軒のお宅を訪問しました。仮設団地でも、誰かが訪ねてきたり、訪ねる相手がいる方もいますが、一方でどこにも行かずに家におられる方もいます。“昨日はお正月だから誰も来ないし、今日誰か来なかったら寂しくて爆発しそうだわ”というのは、今日お訪ねしたD橋さん談。じっくりお話ししてきました。

### 1月6日

本日は大曾根仮設での餅つき大会。大曾根は我々聖公会在震災後1月経つ前から関わっていた本郷地区の仮設です。この仮設は敷地内に囲炉裏があります。去年も餅つきと並行してバーベキューをしましたが、今年ももちろんやりました。ほとんど餅つきが前座のような状態。どこからともなく現れる食材。イカ・野菜・肉・焼きそば・しまいにはリンゴまで焼きはじめました。これがおいしいのです。帰省中の子供や孫もたくさん参加して楽しい餅つきになりました。松田さん・山崎さん・村田さん・恩田さん、そして大曾根のみなさんご苦労さまでした。また来年もやりたいですね。

今日は滞在ボランティアがゼロでした。すべて地元ボランティアで対処したイベントです。地元力強化は課題でしたが、我々もだいぶ力をつけました。皆さんに感謝。

さて午後は来週のプログラムの準備。あちこち駆け回ってきました。ただ明日のお料理プログラムの食材が手に入りません。見つかるまで帰れません。

### 1月7日

我が支援車ミラ号。私のパートナーであり、苦楽を共にした親友であり、唯一の理解者であるミラ号。そのミラ号が大変な事になっています。事件の始まりは年末でした。後部のラゲッジスペースの灯油がこぼれたのであります。しかも少量とはいえない量です。その責任は私にあります。簡単に説明すれば、車内が灯油臭いのであります。それも臭いというレベルをかなり逸脱した状態であります。まず5分経つと目がしばしばしてきます。10分すると頭が痛くなってきて、15分目には軽い吐き気をもよおします。そして20分が経過するとなんだか楽しくなってきます。25分が過ぎると歌を唄ったりして、30分後にはぐったりして気を失いそうになり、換気します。せっかく温まった車内の空気が一挙に冷えてしまうのです。困りました。どんな強烈な消臭剤もかなわないのであります。

## 【いっしょに歩こう！プロジェクト】

「いっしょに歩こう！プロジェクト」の活動の様子は、月一度発行予定の「ニュースレター」や、「いっしょに歩こうプロジェクト！」ホームページ<http://nssk.org/walk>で、ご覧いただけます。

### 【支援室の活動】

インターネットで支援室ブログが見られます。毎日の釜石ベースの活動もアップされます。<http://nsskhokkaido.blog89.fc2.com> 又は、「日本聖公会北海道教区ホームページ」→「東日本大震災」→「震災支援室ブログ」の手順でご覧下さい。

### 【震災支援室より】

- ◎ 支援室ニュースは、各教会において掲示下さると共に、増刷して配布ください。支援室ニュースのバックナンバーは、日本聖公会北海道教区のホームページにでも見る事ができます。
- ◎ 教会や個人での取り組みについても、お知らせください。他の教会の活動の参考になります。

【連絡・問合せ先】 電話：011-561-0451、ファクス：011-736-8377

Eメールアドレス：saigai@nssk-hokkaido.jp

【釜石ベース】〒026-0031 釜石市鈴子町5-4 「聖公会 釜石被災者支援センター」

☎0193-55-4524、090-6999-7840

Eメールアドレス：nssk311@yahoo.co.jp